

	項目	計画の内容(具体的に記載)	チェック
1 基本的な 与条件に 係ること	(1)建物の構造躯体等について		
	ア 上下階の遮音に特に配慮されていること ・床スラブ厚270mm以上、又は ・住宅性能評価の等級5同等以上	居室部分のコンクリートスラブ厚は、200mm以上を確保。	○
	イ 集会所やキッズルームなどの共用施設があること ・住戸数が50戸以上の場合、最低50㎡以上かつ0.5㎡/戸以上	147.97㎡ (>294戸*0.5㎡=147㎡) を確保。 キッズライブラリ、キッズスペースを設けている。	○
	(2)建物の配置計画等について		
	ア 敷地内に子どもたちが遊べる広場があること ・敷地面積の3%以上	敷地内に子どもたちが遊べる一般的公開空地1912㎡を設けている。西側には芝生の広場を設けるなど、それぞれにテーマを設定し子供たちの利用を促す。1912/14185.37*100=13.47%…OK	○
	イ 敷地内が緑化されていること ・敷地面積の10%以上	緑化率21.44%>15%+5%…OK	○
ウ 周りの道路が安全に歩行できること ・敷地が接する道路に幅1.5m以上の歩道、又は ・幅1.5m以上の歩道状空地整備	幅1.5~3.8mの歩道状空地を設けています。	○	
2 仕様の なこと	(1)プランや設備的な配慮について		
	ア 建具が指をはさみにくい仕様になっていること ・共用部、玄関ドアは、吊元の納まりに工夫 ・専用部の主たる建具はドアチェック等	住戸内は、引戸やサッシ等に指はさみ防止の処理をしている。住戸玄関ドアや共用部ドアは、ドアチェックを設置し開閉スピードを調節。	○
	イ バルコニーにシンクが設置されていること ・バルコニーや専用庭部分	一部のバルコニーにシンクを設置しています。	一部○
	ウ 玄関の土間が広く、ベンチが設置できたり、ベビーカーを置くスペースがあること ・土間の広さが1.6㎡以上 ・シューズインクローク等の設置	土間広さ1.6㎡以上確保。 シューズインクロークの設置はなし。	一部○
	エ 子供の成長に合わせて、間仕切りできるなどプランニングの工夫ができること ・大部屋に建具が2箇所あり、将来間仕切りをして2部屋で使用できる等	リビング・ダイニングの続き間になる洋室は、3枚引き戸で仕切られ、お子様の個室として利用可能。	○
	オ 押入れ、物置その他の収納のための空間が多いこと ・収納部分の容積の合計が居住室及び炊事室の容積の合計の9%以上	各寝室にそれぞれ収納を設け、それらに追加して納戸や共用もの入れを設けた。	○
	(2)防犯への配慮について		
	ア 窓に防犯対策が施されていること ・接地階の窓に面格子 ・防犯ガラス等の使用	設置階、ルーフバルコニーに面した窓に防犯センサーを設置している。	○
	イ 第三者が容易に共用部に進入できないこと ・エントランスがオートロック	エントランスは2度オートロックを設置。	○
	ウ 監視の目が行き届くこと ・防犯カメラの設置 ・死角のないプランニング等	エントランス、エレベータ等の建物内や敷地内に防犯カメラを設置している。	○